

寄贈品コーナー

「平塚海岸のウミガメ」

期間：2008年12月3日（水）～25日（木）



孵化したウミガメの卵の殻

2008年8月中旬、平塚海岸から約100匹のアカウミガメの子どもたちが、海に向かって出発しました。上の写真は、その子ガメたちの残した卵の殻です。

この卵は、6月の中旬に平塚海岸に産卵されたものです。ふ化後の調査で、卵は全部で141個あり、そのうちの103個がふ化に成功していたことがわかりました。ふ化率は76.9%で、これはアカウミガメのふ化率として、ごく一般的な値です。

平塚海岸でのアカウミガメの産卵が確認されたのは、1996年以来12年ぶりです。今年（2008年）は全国的にアカウミガメの産卵が多く報告されました。神奈川県内でも他に、藤沢や小田原の海岸で産卵が行われました。平塚海岸に産卵された卵の殻と未ふ化の卵、それからふ化したものの砂からはい出せず、死んでしまった個体（1個体）は平塚市博物館で資料として保管しています。今回の展示ではそれらの資料を紹介します。



巣の中に残っていた子ガメ

産卵巣の調査の際に砂の中から救出されました。このあと海に放しましたが、砂の中から外へ出てこれなかった個体なので、この後、厳しい自然の中でどれだけ生きられるのかわかりません。写真の手は大人の女性のもので、子ガメの小ささがわかります。